

2012年5月24日

タブレット端末の国内出荷実績について

一般社団法人 電子情報技術産業協会

昨今「タブレット端末」と呼ばれるスレート型の機器が市場に広がってきており、各方面より今後の動向が注目されていることから、この度、当協会では「タブレット端末」の動向を統計的に把握するため国内出荷実績の自主統計を開始した。

2012年3月までの実績累計値は以下の通り。

なお、今年度は半期ごとに実績値を公表する予定です。

タブレット端末国内出荷

2010年10月～2012年3月累計実績

389千台

【「タブレット端末」の定義】

ネットワークサービスの利活用を目的とした可搬型汎用端末装置。概ね質量1kg以下、画面サイズ5型以上（複数画面搭載機ではそれぞれの画面サイズを合算）を目安とする。但し、次の①～③に該当するものは除く。

- ① サーバ、ワークステーション、電子書籍リーダー、電子辞書、電卓、電気通信事業用移動電話（スマートフォン、携帯電話、PHS）、インターネット対応TV、ゲーム機、デジタルオーディオプレーヤー、デジタルフォトフレーム、カーナビゲーションシステム、ハンディターミナル、テーブルオーダー端末。
- ② パーソナルコンピュータ
同時に使う利用者が1人であることを目的とした小型汎用電子計算機であるもの。
- ③ 携帯電話事業者ブランドで販売されているもの

【統計参加会社：8社】

NEC、オンキヨー（株）、シャープ（株）、ソニー（株）、（株）東芝、パナソニック（株）、富士通（株）、レノボ・ジャパン（株）